

## 第6回アジア地震工学会議にて基調講演を行いました（2016/9/22-24）

テーマ：三陸大津波、東日本大震災、仙台市防災枠組、復興、Build Back Better  
場所：セブ・フィリピン

2016年9月22日～24日にかけて、フィリピンのセブにて「6ACEE:6TH ASIA CONFERENCE ON EARTHQUAKE ENGINEERING（アジア地震工学会議）」が開催され、当研究所の村尾修教授（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）が基調講演を行いました。

ACEE はアジアにおける地震工学について議論する国際会議であり、6回目の開催となる今回は、地震によって途切れたコミュニティの回復力を高めるために、理論と実践を結びつけるというテーマのもとで行われました。

村尾教授の基調講演は「“Build Back Better” on Post-tsunami Disaster Recovery and its Diversity」という題目で行われ、1934年函館大火とその後の延焼遮断帯建設の話から始まり、日本社会がどのように災害の経験を活かし都市の安全性向上に努めてきたか、また国連防災世界会議で採択された仙台防災枠組における重要な概念「Build Back Better」と近年の東日本大震災の復興状況について報告しました。

またボーディングメンバーとともに、今後のACEEのあり方についてなど、活発に議論が交わされ、盛会のうちに会議が終了しました。



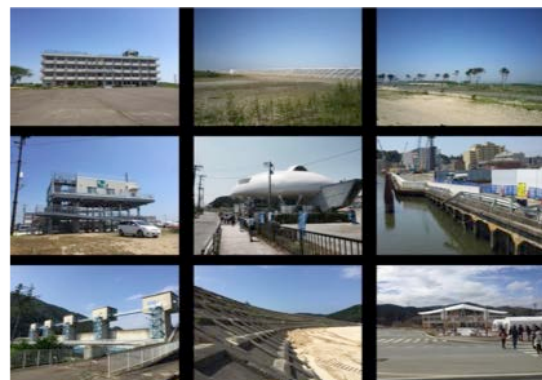
会場の様子



ボーディングメンバー集合写真



村尾教授の講演の様子



東日本大震災の復興状況